

職員の昇任の流れ（行政職のモデル）

主事

年 齢：25歳
年間給与：約350万円
職務内容：定型的な業務を遂行する。
高度の知識経験を必要とする業務を遂行する。

主任

年 齢：35歳
年間給与：約490万円
職務内容：高度の知識経験を必要とする業務を遂行する。

主査

年 齢：40歳
年間給与：約600万円
職務内容：後輩職員を指揮監督する。
より高度の知識経験を必要とする業務を遂行する。

主任主査

年 齢：45歳
年間給与：約630万円
職務内容：担当内の事務の総括をする。
後輩職員の指揮監督をする。
より高度の知識経験を必要とする業務を遂行する。

担当課長

年 齢：50歳
年間給与：約720万円
職務内容：担当内の事務の総括をする。
担当内のマネジメントを行う。

総括課長

年 齢：55歳
年間給与：約820万円
職務内容：課内の事務の処理方針を決定する。
課全体のマネジメントを行う。

副部長

年間給与：約950万円
職務内容：部長の補佐、代理として、
部局の施策の基本方針を決定する。
部局全体のマネジメントを行う。

部長

年間給与：約1,090万円
職務内容：部局の施策の基本方針を決定する。
部局全体のマネジメントを行う。

- ※ 退職の際は、退職手当が最大47.709月分支給されます。
- ※ 勧奨・定年退職における一人当たり平均支給額は、約2,200万円です。
- ※ 年間給与は、役職ごとに、役職と年齢が合致する職員が最も多い給与を基礎に算定しています。